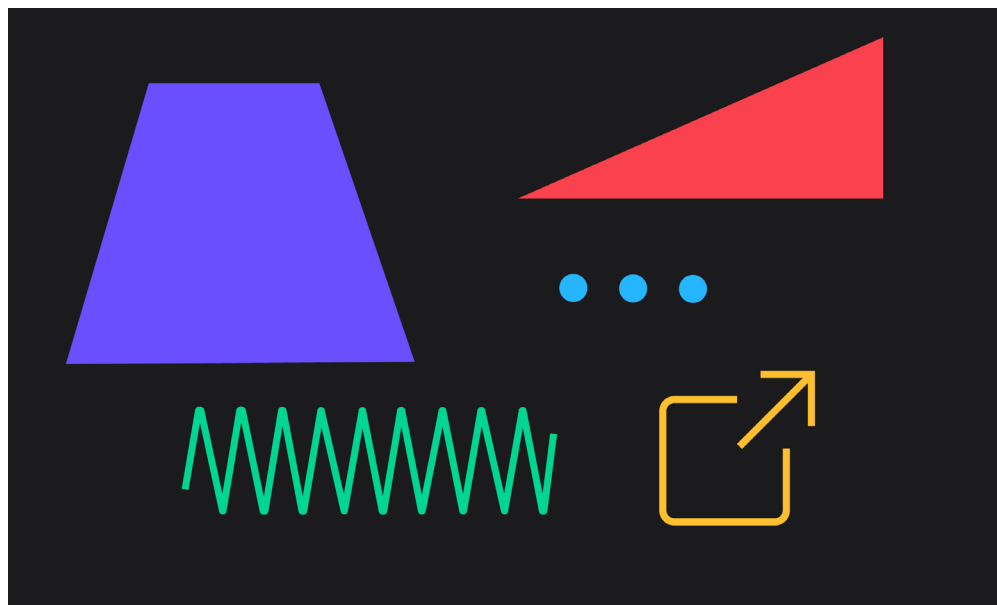


Learning Synths:新機能追加のお知らせ

ベルリン:2022年4月26日



Ableton株式会社は、本日、インターネット上でシンセサイザーを操作しながら仕組みの基本を無料で学べるウェブサイト「[Learning Synths](#)」をアップデートして公開いたしました。この最新版には、シンセサイザーで作った音を音楽制作ソフトのLiveで使えるように書き出す機能のほか、録音機能や、さらなる個性を加えるための機能などが搭載します。

音楽理論を学ぶためのウェブサイト「[Learning Music](#)」の成功に続いて2019年に始動したLearning Synthsは、オシレーター、フィルター、エンベロープ、LFOなど、シンセサイザーの主要な構成要素をひとつずつ学べる複数のレッスンから成り立っています。いずれにおいても、優れた音色のモノラルオシレーター2基を使用しています。

新機能

- **エクスポート機能**: Learning Synthsで作成した音色をまったく同じ状態でMax for Liveデバイス入りのLiveセットとして書き出します。
- **録音機能**: 音声を最長で60秒にわたって記録します。シンセサイザーの音色に変更を加えながら、その出力音を録ることができます。
- **設定可能なXYパッド**: 30種類近くのパラメータを割り当てて操作するパッドです。操作するパラメータの組み合わせにより、手軽に新しい音作りを試すことができます。
- **自由に音作りをしてみよう**: ページ“自由に音作りをしてみよう”では、レッスンで扱う音色をさらに作りこむことができます。その音色を書き出して、Liveで継続して使用することも可能です。
- **暗色モードに対応**: 環境設定に応じて暗色モード(ダークモード)のオン/オフが切り替わります。
- **対応言語**: トルコ語、フィンランド語、ポルトガル語にも対応しました。

新機能は[こちら](#)でご利用になれます。

価格とご利用について

[Learning Synths](#)のご利用は無料です。インターネットに接続するための最新ウェブブラウザを備えていれば、携帯電話、タブレット型コンピュータ、パソコンなど、どのような機器からでもご利用になれます。

プレス資料／製品詳細

高解像度画像は以下のリンクからご利用になれます。

www.ableton.com/ja/press

Abletonについて

Abletonは、独創的な音楽制作と演奏を可能にする製品を手がけています。タイムラインに縛られない自由な作業方法を従来のスタジオ制作環境に組み合わせたソフトウェア「Live」のほか、コンピュータに触れることなくLiveを指先で操作して演奏／制作を行うハードウェア「Push」、複数の機材／デバイスを無線接続で同期させる技術「Link」などを開発しています。

Abletonは、新しい制作ツールを必要としていたミュージシャンによって1999年に設立され、2001年にLiveのバージョン1をリリースしました。現在は、ベルリン本社で設立者たちが運営を指揮しているほか、ロサンゼルスと東京にもオフィスを構え、世界中から集まった約500人がAbletonで働いています。

www.ableton.com/jp

プレスに関するお問い合わせ先:

Ableton株式会社
谷口りさ
〒153-0061 東京都目黒区中目黒2丁目5-21-2F
press-jp@ableton.com

Twitter: twitter.com/abletonjp
Facebook: facebook.com/ableton
LINE: page.line.me
Instagram: instagram.com/ableton

プレスリリースの受信をご希望にならない場合は、[こちら](#)からメーリングリストの登録解除をお願いいたします。